

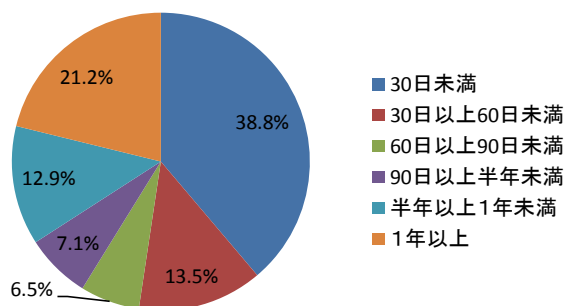
調査結果概要

調査の概要は以下のとおり。
 なお、各項目の割合については、有効回答数を分母として算出した。

【1】一定期間の欠席が認められる女子生徒	51名
【2】体育及び部活動を休んでいる女子生徒	21名
【3】教育活動の制限が生じた女子生徒	99名
【1】～【3】のいずれかに該当する女子生徒	171名

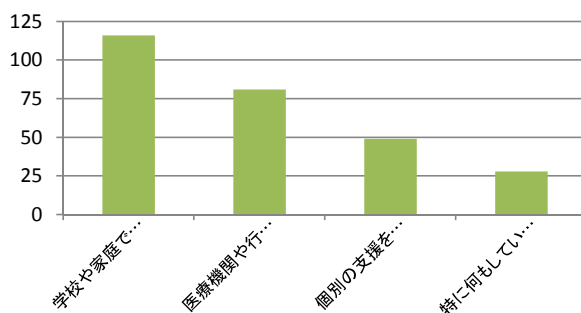
・期間について

	(人)
30日未満	66
30日以上60日未満	23
60日以上90日未満	11
90日以上半年未満	12
半年以上1年未満	22
1年以上	36



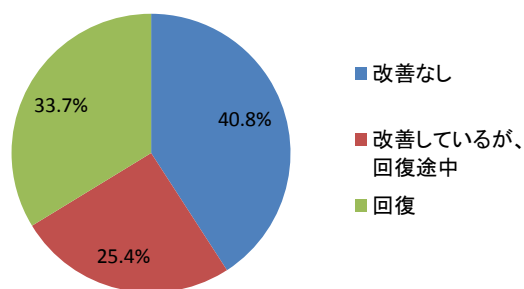
・学校での対応について(複数回答)

	(人)
学校や家庭で本人又は保護者と面談	116
医療機関や行政機関への相談を促した	81
個別の支援を行った	49
特に何もしていない	28



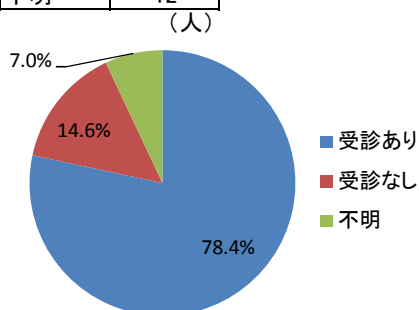
・現在の学校生活の状況について

	(人)
改善なし	69
改善しているが、回復途中	43
回復	57



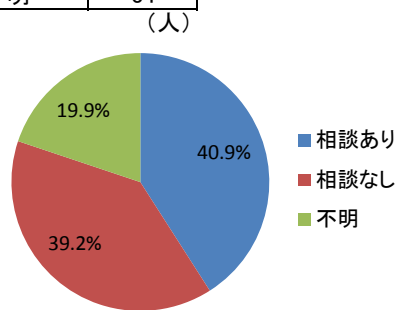
・医療機関への受診の有無について

受診あり	134
受診なし	25
不明	12



・行政機関への相談の有無について

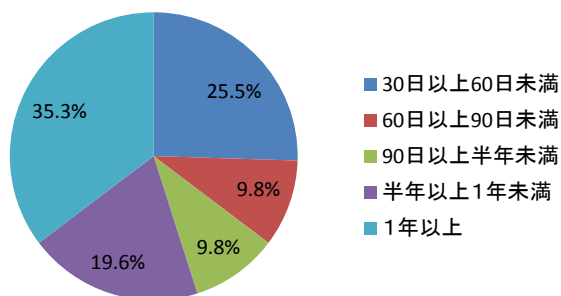
相談あり	70
相談なし	67
不明	34



【1】一定期間の欠席が認められる生徒(51名)

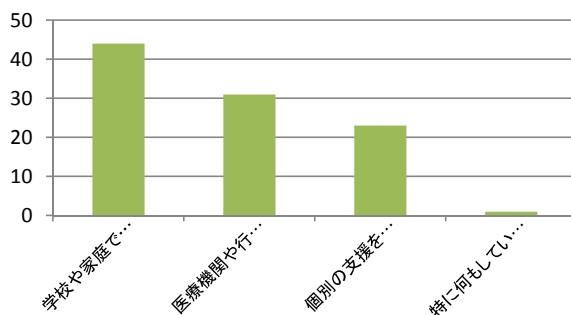
・期間について

(人)	
30日以上60日未満	13
60日以上90日未満	5
90日以上半年未満	5
半年以上1年未満	10
1年以上	18



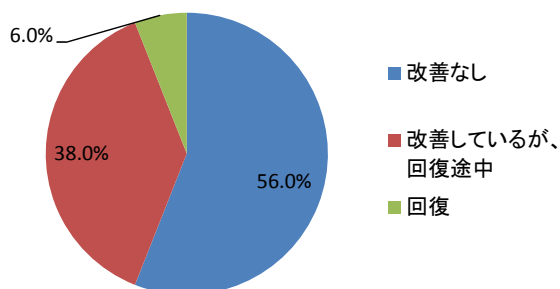
・学校での対応について(複数回答)

(人)	
学校や家庭で本人又は保護者と面談	44
医療機関や行政機関への相談を促した	31
個別の支援を行った	23
特に何もしていない	1



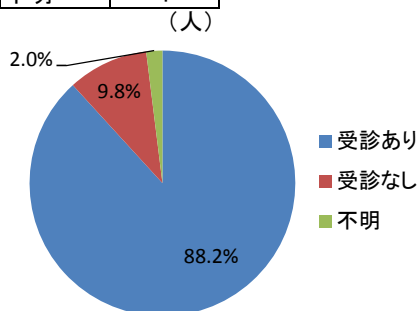
・現在の学校生活の状況について

(人)	
改善なし	28
改善しているが、回復途中	19
回復	3



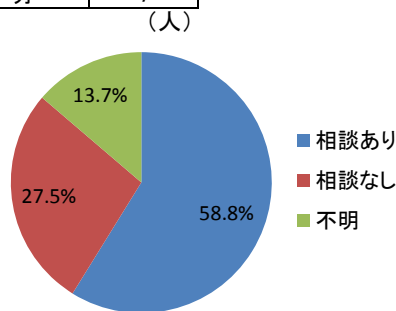
・医療機関への受診の有無について

受診あり	45
受診なし	5
不明	1



・行政機関への相談の有無について

相談あり	30
相談なし	14
不明	7



(症状の例)

- 接種の2週間後あたりに、自宅で転倒し入院。検査で異常は認められなかったが、退院後も足に力が入らずに歩行困難だった。
- 接種後からの発熱、関節痛、むくみ、歩行困難のため入院。全身性エリテマトーデスと診断された。
- 激しい頭痛により、登校が困難となった。偏頭痛が一日中あり、1日3回程度激しい頭痛に見舞われる(1時間ほど続く)。群発頭痛と診断された。
- 突然手足の震えが出現する。ひどいときは歩行困難になり通学できない。

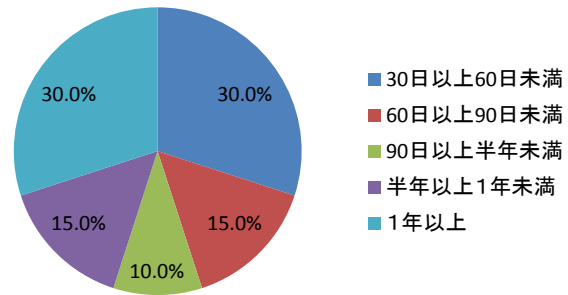
(学校における個別の配慮の例)

- スクールカウンセラーとのカウンセリングや、家庭訪問による対応。
- 学校医や主治医と相談し、学校生活での留意点や対応等について助言を受ける。
- 定期試験を保健室等で受けられるように配慮。
- 校内での車椅子の使用に当たって、階段の昇降や行事の際に教職員が介助。
- 教室に近いトイレや手洗い蛇口をレバー式にするなど整備。またエレベーターの設置を進めている。

【2】体育及び部活動を休んでいる生徒(21名)

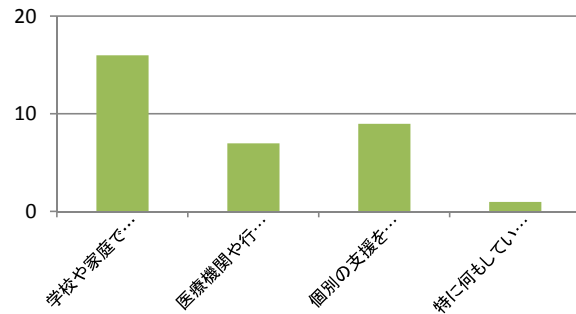
・期間について

	(人)
30日以上60日未満	6
60日以上90日未満	3
90日以上半年未満	2
半年以上1年未満	3
1年以上	6



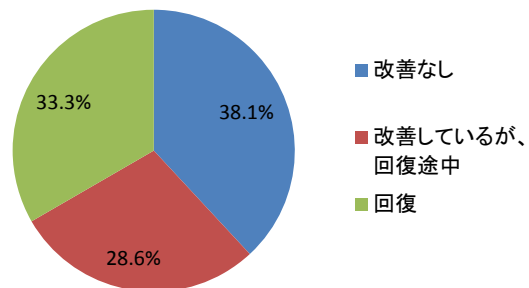
・学校での対応について(複数回答)

	(人)
学校や家庭で本人又は保護者と面談	16
医療機関や行政機関への相談を促した	7
個別の支援を行った	9
特に何もしていない	1



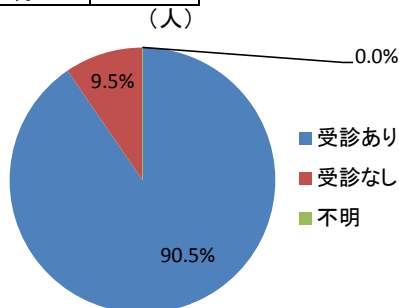
・現在の学校生活の状況について

	(人)
改善なし	8
改善しているが、回復途中	6
回復	7



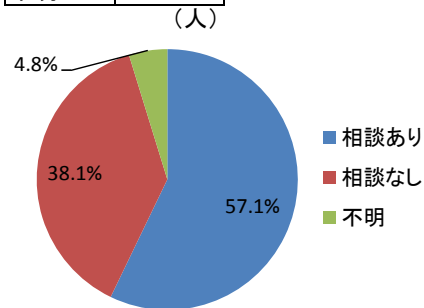
・医療機関への受診の有無について

受診あり	19
受診なし	2
不明	0



・行政機関への相談の有無について

相談あり	12
相談なし	8
不明	1



(症状の例)

- ワクチン接種後、ぜん息発作、症状が続き、体育及び陸上の部活動を3か月欠席した。
- ソフトテニス部に在籍していたが、接種した方の腕の力が入らず、三角巾を使用。そのため、ラケットを握ることも走ることもできなかった。その後も改善しなかったため部活を退部した。体育の授業も見学が続いた。
- 体調不良や原因不明の膝や腰の痛みのため歩行もできない。車椅子を使用。
- 接種後から全身の痛みが続き、激しい運動を制限するよう医師から指導を受けている。体育の授業は見学しており、部活動は退部した。

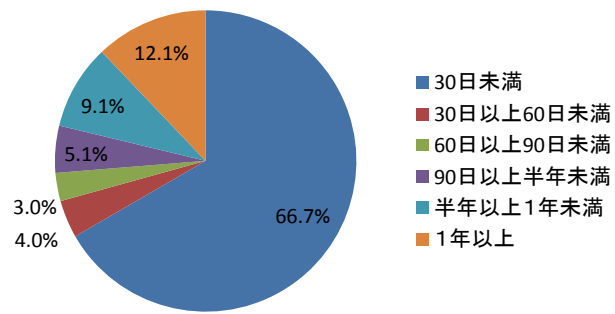
(学校における個別の配慮の例)

- 体育時の保健室での休養や、スポーツ大会などでの救護テントの利用など。
- 車椅子への対応や学習の支援など、保護者と話し合いながらの個別の支援。
- 当該生徒の状態について、クラスや部活動のメンバーの理解を得られるように配慮。
- 階段を上れないため、1階の教室で個別指導が受けられるように体制を整えた。

【3】教育活動に制限が生じた生徒(99名)

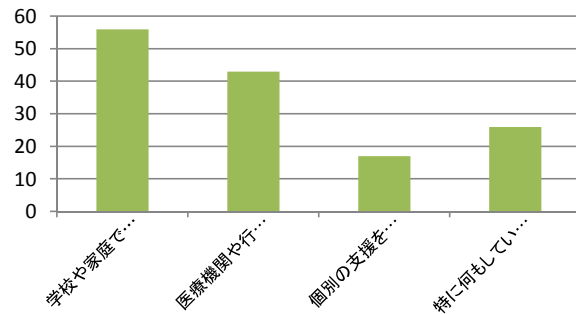
・期間について

	(人)
30日未満	66
30日以上60日未満	4
60日以上90日未満	3
90日以上半年未満	5
半年以上1年未満	9
1年以上	12



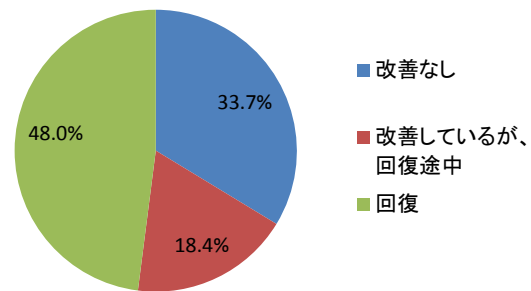
・学校での対応について(複数回答)

	(人)
学校や家庭で本人又は保護者と面談	56
医療機関や行政機関への相談を促した	43
個別の支援を行った	17
特に何もしていない	26



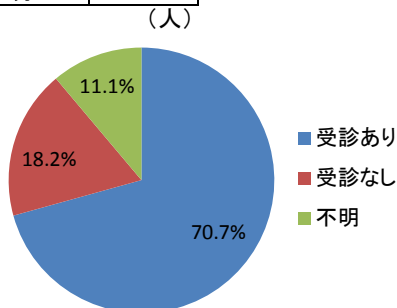
・現在の学校生活の状況について

	(人)
改善なし	33
改善しているが、回復途中	18
回復	47



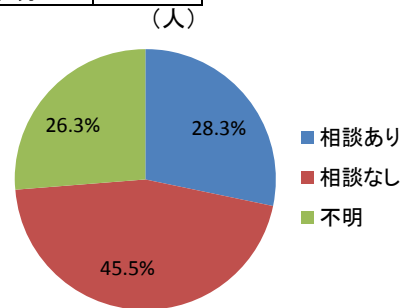
・医療機関への受診の有無について

受診あり	70
受診なし	18
不明	11



・行政機関への相談の有無について

相談あり	28
相談なし	45
不明	26



(症状の例)

- 接種後より発熱、めまい等の症状が出現。安静と通院のため23日間欠席した。
- ワクチン接種後、2回失神し救急搬送された。受診した結果、「てんかんの疑い」と診断され、水泳等体育活動での制限がある。
- 頭痛、倦怠感、足に力が入らずふらふらする。保健室登校や通院による遅刻があった。
- 接種後から両腕の脱力感と握力の低下があり、最近では物の握りにくさを訴えている。
学校活動においては、脱力感のため動作の円滑さを欠くことや、集中力が低下することがあり、生徒は支障を感じている。

(学校における個別の配慮の例)

- 指定外のかばんを許可したり、臨時に自転車通学を許可したりという対応。
- 体育実技の代わりにレポートで評価したり、水泳授業で帽子の色を変えたりして異常を発見しやすくするなどの対応。
- 授業や試験の別室受験や補講などの対応。
- 教室を昇降口付近に設定したり、廊下に出やすい座席にしたりするなどの配慮。